

インマヌエル中目黒キリスト教会

2014年2月2日聖日礼拝

使徒の働き連講⑳

「そこは荒野」

使徒の働き 8章25 – 31節

竿代照夫牧師



聖書朗読

新約聖書

使徒の働き 8章25 – 31節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp223~/ 第三版の聖書はp243~

- 25 このようにして、使徒たちはおごそかにあかしをし、また主のことばを語って後、エルサレムへの帰途につき、サマリヤ人の多くの村でも福音を宣べ伝えた。
- 26 ところが、主の使いがピリポに向かってこう言った。「立って南へ行き、エルサレムからガザに下る道に出なさい。」
(このガザは今、荒れ果てている。)

- 27 そこで、彼は立って出かけた。すると、そこに、エチオピヤ人の女王カンダケの高官で、女王の財産全部を管理していた宦官のエチオピヤ人がいた。彼は礼拝のためエルサレムに上り、
- 28 いま帰る途中であった。彼は馬車に乗って、預言者イザヤの書を読んでいた。
- 29 御霊がピリポに「近寄って、あの馬車といっしょに行きなさい」と言われた。

- 30 そこでピリポが走って行くと、預言者イザヤの書を読んでいるのが聞こえたので、「あなたは、読んでいることが、わかりますか」と言った。
- 31 すると、その人は、「導く人がなければ、どうしてわかりましょう」と言った。そして、馬車に乗っていっしょにすわるように、ピリポに頼んだ。

説教

使徒の働き連講②①

「そこは荒野」

使徒の働き8章25－31節

竿代照夫 牧師



主テキスト

「主の使いがピリポに向かってこう言った。
『立って南へ行き、エルサレムから
ガザに下る道に出なさい。』
(このガザは今、荒れ果てている。)
そこで、彼は立って出かけた。」

(使徒8:26-27)

前回の復習：

「それでその町(サマリヤ)に大きな喜びが
起こった。」(8:8)：サマリヤにおける
リバイバル

A. 荒野への導き(25ー27節a)

1. ペテロとヨハネのエルサレム帰還
(25節、地図①参照)



2. 「成功」の場所から離れる(26節a)
: 意外な転任命令
3. 「任地」は荒野: 理解を超えた場所へ
4. ピリポの単純率直な服従

B. エチオピアの宦官との出会い

(27節b－28節)

1. エチオピアの宦官：財務大臣

(地図②参照)

2. 真剣な求道者：聖書を愛読



C. ピリポの大胆な接近(29－31節)

1. 堂々たる態度

2. 接近の知恵

おわりに

1. 今いる場所、置かれた立場を感謝しよう
:そこが荒野であったとしても
2. 大胆な、しかし知恵深い証人となろう